

第1回

2007.6.12[火]

「北アルプスの生い立ち」

～砂防について
■砂防事業の概要

第2回

2007.7.31[火]

「北アルプスの崩壊」

～砂防えん堤の効果について
■姫川流域

第3回

2007.9.11[火]

「地域を襲った災害」

～自然と砂防えん堤について
■神川流域

第4回

2007.10.30[火]

「荒廃する渓谷」

～森林の機能について
■高瀬川流域

第5回

2008.1.19[土]

「防災とボランティアの日」

シンポジウム
「Day of disaster prevention and volunteer」 symposium

知られざる 上流へ。

フォッサマグナの西の縁を走る糸魚川-静岡構造線。それを境に、せり上がった3,000メートルを超える北アルプスの山々。その地質はポロポロと脆く、年間を通して降水量も多い。流れ出す水は必然的に急峻で荒れた溪流となり、古来より土砂災害が頻発していました。そこで、押し寄せる大量の土砂をせき止め、川底や川岸を削られないように整備しているのが砂防えん堤です。その場所の川底の地質、雨の量、植物や生物などをも綿密に調べ上げ、特に近年は植生や景観にも配慮された砂防施設の数々が、土砂災害から私たちを守っています。「自然を大切にしながら、自然の脅威と共生していくこと」——私たちの原点になる考え方です。松本砂防事務所の開放講座「アルプス紀行」。知られざる北アルプス上流域に観る、大自然の美しさと圧倒的な脅威。そこに機能している砂防技術の全貌を、この講座のなかでご案内いたします。

■荒廃が著しい竜川上流部と、竜川第4号、第5号砂防えん堤。
この下流域には、大町市街がひろがる。

受講生募集!
定員30名

自然と暮らしを守る砂防。SABOは世界の共通語。



SABO MATSUMOTO
OFFICE

国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所

松本砂防事務所開放講座

第10期

「アルプス紀行」

ALPS account of the trip

第1回

2007.6.12[火]

「北アルプスの生い立ち」

～砂防について
■砂防事業の概要

大正7年に完成した松本市の牛伏川フランス式階段工。80年以上経過しその流路工は今日にその姿を留め、周囲の樹林帯に溶け込んだ美しい景観を見せています。平成14年8月21日、登録有形文化財として登録されました。



第2回

2007.7.31[火]

「北アルプスの崩壊」

～砂防えん堤の効果について
■姫川流域

蒲川スーパー暗渠砂防えん堤は、平成7年の姫川災害を契機に従来と同等以上の安全度を有したうえ、より合理的で自然環境にも配慮された砂防えん堤として、この形式では世界初の設置となりました。平成10年完成。高さ11メートル。幅120メートル。



第3回

2007.9.11[火]

「地域を襲った災害」

～自然と砂防えん堤について
■梓川流域

野麦峠流路工は一級河川信濃川支流奈川上流部松本市奈川神谷地先より、川浦地先の区間、延長約5.5kmに及ぶ大規模な流路工です。この区間には豊かな自然があり、現況の河川形態や豊かな環境を生かした「人と自然に優しい流路工」として整備されました。



第4回

2007.10.30[火]

「荒廃する溪谷」

～森林の機能について
■高瀬川流域

大町市高瀬川上流の高瀬川ダム湖では、絶え間ない土砂生産が続いています。溪岸にはマサと呼ばれる白い砂が堆積し異様な光景が広がります。これは地質が粗粒で風化しやすい花崗岩類で占められており、温泉作用による著しい軟化が原因と考えられています。



第5回

2008.1.19[土]

「防災とボランティアの日」

08 シンポジウム

"Day of disaster prevention and volunteer" symposium.

松本砂防事務所では、未曾有の被害・犠牲をもたらした阪神・淡路大震災の記憶を風化させることなく、災害時のボランティア活動の意義と、地域と行政が連携することの重要性を将来に模索していくことを目的として平成9年度より「防災とボランティアの日」を記念したシンポジウムを開催しています。自助・共助・公助の観点から近年起きた災害を振り返り防災力と減災力の実探をします。「アルプス紀行」の最終回はこのシンポジウムに参加していただき、その後修了式を行います。

募集要項

■対象となる方

18歳以上で、年間全5回の講座の全てにご参加いただける方に限ります。また、山道を徒歩で移動する箇所が数カ所ございます。ご了承のうえご応募ください。

■定員

30名

■ご応募の締切

2007年5月2日(水)当日消印有効

■ご応募の方法

このリーフレット添付の応募はがきに必要事項をご記入のうえお申し込みください。また、国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所のホームページからもお申し込みいただけます。アドレスは <http://www.hrr.mlit.go.jp/matumoto/> です。ご応募多数の場合は抽選により決定させていただきます。結果は5月21日(月)に、ご応募いただいた方全員に郵送でご連絡させていただきます。

■受講料

受講料は無料ですが、旅行保険と各施設入館料などで毎回数百円程度が実費負担となります。

■ご注意

*スケジュールは天候などにより開催日・内容などが変更になる場合がございます。
*各回ごとの詳細資料は事前に郵送にてご案内いたします。*バスによる長時間の移動がありますので乗り物酔いにご注意ください。

■お問い合わせ窓口

TEL 0263-33-1115 FAX 0263-33-6086 Mail matumoto@hrr.mlit.go.jp

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/matumoto/>

■松本砂防事務所開放講座「アルプス紀行」事務局

〒390-0803長野県松本市元町1丁目8番28号 国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所内

料金受取人払

松本局承認

925

差出有効期間
平成21年3月
14日まで

切手を貼らずに
お出ください。

郵便はがき

390-8790

長野県松本市元町1丁目8番28号
国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所開放講座
「アルプス紀行」事務局 行

*締切は5月2日(水)当日消印有効です。

氏名

ふりがな

ご住所 〒

お電話番号

年齢

歳

性別

男性・女性

ご職業

*ご記入いただきました個人情報は松本砂防事務所開放講座「アルプス紀行」の運営に関する必要事項であり、この目的以外に使うことはありません。

*ご応募の動機をご記入ください。